

## CCIT 搭載 高速外観異物自動検査プラットフォーム「AIM9」

- 数十年の経験に基づく高い信頼性
- 最大 600 本/分、250 mL までのバイアルに対応
- 外観検査とリーク検査を統合した将来性の高い新プラットフォーム

医薬品、食品向けの包装機械メーカーであるシンテゴンテクノロジー株式会社（本社・東京都渋谷区、代表取締役社長・ベアント・バーカイ、以下、シンテゴン）は、数十年にわたる経験と実証済みの技術に基づく新たな自動検査プラットフォーム「AIM9」をリリースしました。外観検査とリーク検査を統合し、最大 600 本/分の処理能力を実現する本プラットフォームは、製薬メーカーおよび CMO 企業様に最高水準の検査品質と安全な製品を提供します。



高速外観異物自動検査プラットフォーム「AIM9」

### 効率性と柔軟性にフォーカス

AIM9 は厳しい要求水準の製造環境に対応した設計となっており、最大 600 本/分のバイアルを効率よく自動処理します。また、製薬メーカーや CMO 企業様にとって多様な容器サイズや製品への対応が課題となる中、本プラットフォームは 2~250mL の幅広いバイアル検査をカバーし、容易な段取り替えと新製品への迅速な適応を実現することで、さらなる柔軟性を備えています。「急速に変化する製薬業界において、

Registered Office Stuttgart  
Registration Court: Amtsgericht  
Stuttgart, HRB 723501

Chairman of the Supervisory  
Board  
Marc Strobel  
Management Board  
Torsten Türling, Stephan März

Phone +49 7151 14 0  
Telefax +49 7151 14 1000  
Website [www.syntegon.com](http://www.syntegon.com)

Visitor address  
Syntegon Technology GmbH  
Mercedesstraße 41  
70372 Stuttgart

Syntegon Technology GmbH  
Postfach 11 27  
71301 Wäiblingen  
GERMANY

効率性は極めて重要です。」と、当社の代表取締役社長ベアント・バーカイは述べています。

## CCIT（容器密封完全性試験）の統合による確かな品質

AIM9 は、自動外観異物検査機に CCIT 機能がシームレスに統合されており、ヘッドスペースガス分析（HSA）や高電圧リーク検査（HVLD）を単独または併用で行うことができます。また、外観検査と組み合わせることで、異物や外観欠陥を高精度で検知し、低い誤検知率を実現します。さらに、シンテゴンの特許取得済み SD 技術、エリアスキャン／ラインスキャンカメラ、ディープラーニングや無害な気泡と有害な欠陥を判別するバブルマスキングツールなどオプションの搭載も可能です。

## 経験に裏打ちされた信頼性

AIM9 は新しいプラットフォームではあるものの、その基盤となっているのは長年にわたり実績を積み重ねてきた検査技術です。世界中の顧客によって検証されてきた円滑な搬送システムが、検査工程全体にわたり安全かつ安定した容器ハンドリングを実現します。

「長年の経験によるノウハウにより、検査プロセスにおいてお客様が求める性能・効率・柔軟性を的確に満たすことができます。AIM9 は標準化されたプラットフォームを基盤とした複数のバリエーションをご用意しており、お客様と共創しながら理想的なソリューションを構築できます。」と、バーカイは述べています。

## シンテゴンテクノロジーについて

シンテゴンテクノロジーは、製薬、バイオテクノロジー、食品産業に向けたソリューションを提供するグローバルテクノロジー企業として、世界各国の企業の戦略的パートナーとなっています。とりわけ製薬・バイオ医薬品分野に重点を置き、安全性、効率性、そしてコンプライアンスを確保した重要医薬品の製造を可能にする、プロセス技術とミッションクリティカルなソリューションを提供しています。また食品分野においては、高速かつ高精度な包装技術を強みとし、長年にわたり蓄積してきたエンジ

ニアリング力を活かして、メーカーの生産性向上と製品品質の強化に貢献しています。さらに、グローバルサービス事業においては、世界で約 75,000 台の稼働設備を支え、包括的なライフサイクルサポートを通じて高い稼働率、運用効率、そして長期的価値を提供しています。これらの取り組みにより、シンテゴンは 160 年以上にわたって築かれてきた産業経験を背景に、20 か国以上、47 拠点で事業を展開し、現在はドイツ・シュトゥットガルトの本社を中心に、世界 6,900 名の従業員とともに、2024 年には 16 億ユーロの売上を達成しています。

シンテゴンジャパンにおいては、グローバル検査機事業の製造・開発拠点として 40 年以上にわたる経験と実績を有しています。当社の外観異物自動検査機 AIM シリーズは、1,000 台以上の検査機が日本で製造され、世界 50 カ国以上の大手製薬会社に納入しています。注射製剤の検査機技術におけるパイオニアとして、革新的な技術を生み出し、お客様をサポートすることですべての方に安全な注射製剤が届くよう貢献していきます。